

守谷ボランティア NEWS

2022年8月号 (毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ 2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: <https://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時 (午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

もりサポ塾 「ボランティア講師」「運営ボランティア」募集!

もりサポ塾では、塾に通えない事情をもつ中学生に学習指導をしています。週に1回程度、市内の中学生の基礎的な学習支援(英語・数学)のお手伝いができる方と事業継続のためマネジメント等の経験をお持ちの方を募集します。大人たちの小さな後押しが子どもたちの大きな力になるボランティアです。一緒に活動しませんか。

- 日時 毎週木曜日 18:00～20:00
- 会場 市民活動支援センター会議室
- 募集期間 随時募集中
- 申込・問合せ先 市民活動支援センター



▶ ボランティア申込フォーム



夏休みの課題「こども新聞を作ろう」作品募集

「こども新聞」は今年度で11回目を迎えます。昨年度はコロナ禍の中で157点の作品が集まりました。聞いたこと、調べたことを記事にまとめて新聞を作ってみよう!

- 対象者 市内小学生(4年～6年)
- 提出方法 1人1作品 ※ 個人情報保護の関係で表面に氏名を入れなくてください

①紙で提出: 画用紙四ツ切サイズ

裏面に、学校名・学年・組・氏名(ふりがな)を書いて、夏休み終了後、学校に提出(守谷市立以外の小学生は市民活動支援センター窓口へ提出)

②データで提出: A3サイズ以内

PDFファイルに変換したデータを、市民活動支援センターのメールアドレス宛に提出(9月1日(木)〆切) ☒ moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp

メールのタイトルを「こども新聞」、本文に学校名・学年・組・氏名(ふりがな)を入力

※市民活動支援センターのホームページで過去の作品を参考にしてください!

- 主催・問合せ先 市民活動支援センター



センターメール

登録団体活動情報 8月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
手話サークルふれあい 手話の学習・交流	中央図書館・中央公民館	毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00	川畑 090-6500-0266
もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備	守谷駅西口花壇	最終(月) 9:00～11:00	山口 090-2742-2619
大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業	大柏下ケ戸(元はるにわカフェ前)	第2(日) 9:00～11:00	高木 090-1268-0269
立沢里山の会 里山整備	立沢里山	第3(土) 9:00～12:00	市民活動支援センター

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

医療・福祉	～8/18 令和4年度第二次文化活動事業費助成対象事業 公益財団法人いばらき文化振興財団 https://icf4717.or.jp/
医療・福祉	～9/22 2023年度「機械振興補助事業」 公益財団法人 JKA https://www.keirin-autorace.or.jp/hojo/
医療・福祉	～9/22 2023年度「公益事業振興補助事業」 公益財団法人 JKA https://www.keirin-autorace.or.jp/

編集後記

急速に進む高齢化と社会のデジタル化に伴い、高齢者のデジタル・デバイド問題が起こっています。内閣府の調査では、スマートフォンやタブレットを利用していない高齢者の多くは、①必要性を感じていない②使い方がわからず、使いこなせていないといった状態に属していることがわかりました。①の施策として当センターでは、いち早くオンライン講座、今月にはデジタル講座を開催する予定です。②に対しては、楽しく体験できる施策が有効ではないかと考えます。今後、スマートフォンを活用してレシピや調理法を学べるクッキング教室や歩数計機能と連動したウォーキングや体操教室などのイベントを考えています。



「わんちゃんと一緒に読書」講座 2022年6月12日(日)

@中央図書館

昨年度、開催した「命の授業」の第2弾。絵本の読み聞かせを図書館と共催で行いました。絵本専門士の飯塚みどりさんはセラピードッグのジョン君とレオ君を連れて活動しています。



会場には、読んで欲しいなと思う選りすぐりの絵本がたくさん飾られており、飯塚さんが持参してきた絵本の中には廃刊になっている貴重なものもありました。



<選りすぐりの絵本>

ジョン君は1年前に会ったときと変わらず穏やかで落ち着いていました。しかし、読み聞かせの最中に雷が鳴り始めた途端に頭を上げ、震えだしました。飯塚さんはその様子に気づき、ジョン君のお尻、尻尾に足をそっと添えて安心させたのです。「行儀が悪かったかなあ」とおっしゃっていましたが、犬が子どもたちと触れ合うような現場で活躍するためには飼い主のとっさの判断が必要なのだと思います。

レオ君は劣悪な環境にいたところを飯塚さんに保護されました。愛情を受け、多くの人と触れ合うことで、愛嬌のある人懐っこい犬へと成長し、1年前よりも落ち着きがありました。ふれあいタイムでは人気の的でした。



<ジョン君>



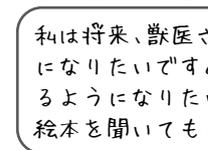
<レオ君>

リードプログラムには4名の子どもたちが参加。

<応募理由作文と子どもたちの様子>



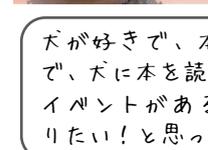
ハムスターのお世話をするときには本を読んであげたりしています。動物に接すると元気をもらえます。わんちゃんに読み聞かせてあげるのが憧れで、夢が叶えばと応募しました。



私は将来、獣医さんとトリマーさんになりたいです。犬の気持ちが分かるようになりたいので、ジョン君に絵本を聞いてもらいたいです。



ぼくは本を読むことが大好きです。セラピードッグというおしごとをはじめて知りました。



犬が好きで、本も好きなので、犬に本を読み聞かせするイベントがあると知ってやりたい!と思ったからです。



参加したボランティア団体の方は「子どもたちの自己肯定感が高まって良いと思う。これからも続けて欲しい。」「読書介助犬の取組みを知り、本物を見てみたいと参加。多くの人に知ってもらい、QOLの向上に活用して欲しい。継続してもらいたい。」といった声が聞けました。

茨城県では水戸市立見和図書館でジョン君を連れて飯塚さんが読み聞かせをしています。守谷市では昨年、市民交流プラザギャラリーで初めてリードプログラムを行い、中央図書館で2回目になります。公共施設に動物を入れることはまだまだハードルが高いことだそうです。今回、犬が図書館に入れたことはとても嬉しいです。一回で終わらずに継続させたいと考えています。

<市民活動支援センター>